2023（令和5）年度
事業計画

2022/03/30

社会福祉法人紬会

もくじ

◆ 基本理念　～　目標体系

◆ 中期事業目標・中期事業戦略

◆ 生活支援の姿勢・在宅支援の姿勢

◆ 職員への思い

◆ 職員の心がけ

◆ 2023年度基本方針

◆ 組織図

◆ 数値指標

◆ 基本理念　～　目標体系

基本理念

私たちは、

普通に暮らす幸せを

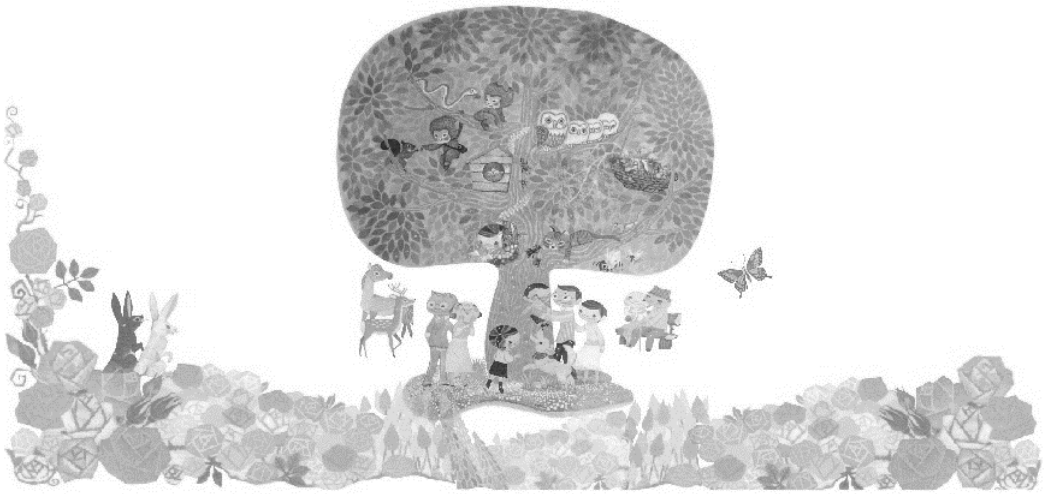
1番大切にしています。

活動によって実現したいことは、
誰もが普通に暮らせ、ささやかな幸せを感じられる社会を
地域と共に作っていくこと。
です。

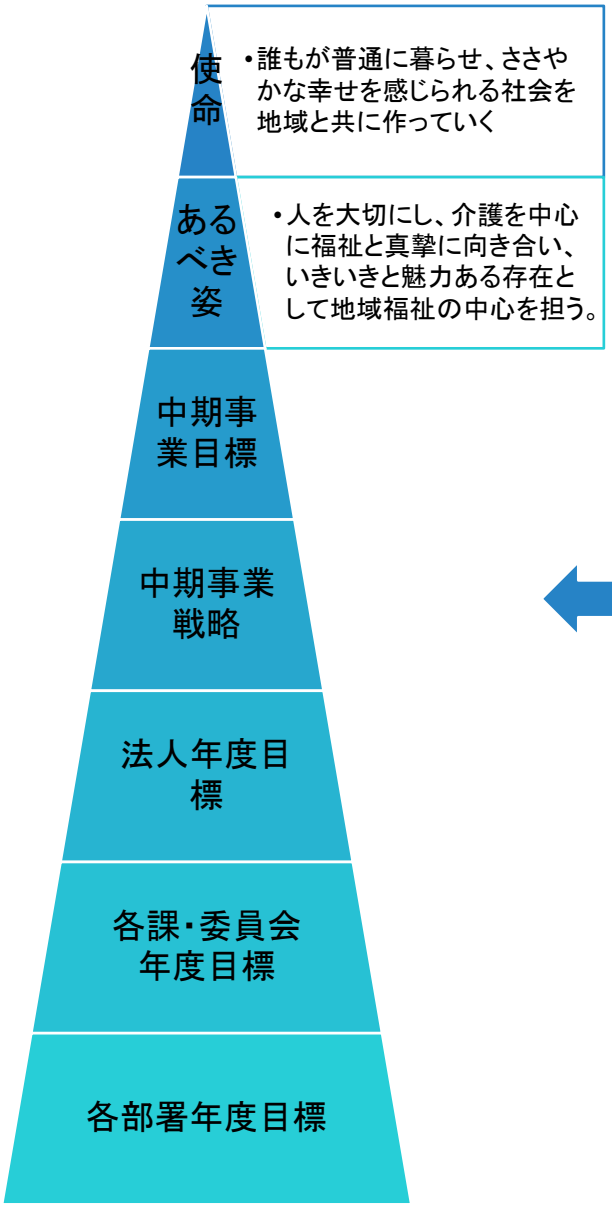
そのためにやるべき事は、

一人ひとりとしっかり関わる。
ひとりをちゃんとケアする。
人と人とのつながりを紡いでいく。

ことだと考えます。



基本理念 【普通に暮らす幸せ】



職員の行動指針

お年寄りの笑顔	お年寄りの思いや願いに全力で向き合い、一緒に楽しみながら笑顔と個性を引き出します。
家族の絆	ご家族とのコミュニケーションを大切にし、ご利用者との良好な関係の架け橋となります。
職員の志	専門職としてのプロ意識を忘れず、常に学習意欲を持ち続け自己の向上に努めます。
地域の繋がり	社会問題に関心をもち、地域のために何ができるのかを考え、実践します。
風通しの良さ	職員間のコミュニケーションを疎かにせず、お互い様という気持ちで心地よく働くことができる環境をつくります。

〇使命/職員は何を大切に考えて仕事をするか

〇あるべき姿/(2023(令和 5)年度末)にどのような組織であるべきか

〇中期事業目標/あるべき姿を達成するための具現化すべき目標

〇中期事業戦略/事業目標を達成するうえで重点としたいポイント

◆ 中期事業目標・中期事業戦略（2021 年度～2023 年度）

人を大切にし、介護を中心に福祉と真摯に向き合い、いきいきと魅力ある存在として地域福祉の中心を担う。

Ⅰ．プロとして介護・福祉に向き合う

- Ⅰ-1　質の高い介護を追求していきます
  - ①関わりを大切にした介護の実践
  - ②介護技術のレベルアップと標準化
  - ③ご利用者のための科学的介護の活用
- Ⅰ-2　個性が活き、人が育つ体制をつくります
  - ①人が育つキャリアパス制度の運用
  - ②多様な人材が活躍できる体制の整備
- Ⅰ-3　業務負担を軽減し、効率化と連携強化を推進します
  - ①事業所間・多職種間の連携強化
  - ②ICT活用による業務効率化

Ⅱ．地域からの信頼を得る

- Ⅱ-1　感染症や災害への対応力を強化します
  - ①実態に沿った業務継続計画（BCP)の策定
  - ②災害への地域との連携強化
- Ⅱ-2　地域の課題へ取り組みます
  - ①積極的な地域交流とニーズの把握
  - ②地域の課題を解決するための仲間づくりと仕組づくり

Ⅲ．財政基盤の安定化

- Ⅲ-1　数値目標
  - ①年度末預金　（2023（令和5）年度末：8千万円以上）

◆ 生活支援の姿勢

お年寄りの方々に安心して生活していただけるよう努力します

- 馴染みの物、馴染みの関係を大切にします。
- お年寄りの身体の事を理解する努力をし、出来る事に目を向け心身ともにサポートします。
- 常にお年寄りの立場に立ち、探究心、向上心をもって継続してケアの質を高めます。

◆ 在宅支援の姿勢

在宅で暮らし続けるために、事業所の枠に収まらない複合的な支援をします

- 利用者様ひとりひとりと向き合い、潜在的な思いや能力を引き出し、チームとして同じ目標に向かいチャレンジしていき**「気持ちを支えるケア」**を実践します。
- 急な状況の変化にも迅速に対応ができ、生活状況に合わせて最善の方向へと一緒に考えることで、家族様の心の負担を少しでも軽く出来る**「よりどころ」**になります。
- 利用者様の心を前向きに動かし、**「まだまだ出来る事」**をサポートしながら心と体を元気にします。

◆ 職員への思い

職員も幸せになるべきです。人間的な成長は自身もご利用者も、そして周りの人も幸せにしていくと考えます。働きやすい職場で、やりがいをもって生き生きと働くことが自己実現につながり、人間的な成長を促すと信じ、人財育成に取り組みます。

自己実現を応援します

- 当法人で働くことがステップアップの場であって欲しいです。目の前のこと、些細なことも疎かにせず、自分のあるべき姿を思い描き自己研鑽に励む職員を応援します。
- 迷い悩むことは当然のこと、一緒に悩み、考えられる仲間でありたいと思います。

働きやすい職場を創造します

- ワークライフバランスを大切にし、多様な働き方を受け入れられるような体制を整えます。
- 情報の滞りが人間関係に悪影響を及ぼしてしまうことがあります。情報の流れを整備し共有化を推進します。

やりがいをもって生き生きと働くことを支援します

- 成功体験を積み重ねていくことが自信を生みます。目標設定と振り返りをしっかり行い、成果を確認することが、やりがいにつながります。
- やらされる仕事はつまらない。自分たちで問題を発見し、考え解決していく仕事のほうが楽しいはずです。
- 手段と目的を混同させない。「何のために」という目的を伝えること、見失わないことが大切です。
- 自らの個性を生かしながらもチームに貢献する職員を応援します。

◆ 職員の心がけ

気持ちの良い挨拶をすること

- 『関係性が円滑になります』
  - 挨拶は、人と人とのコミュニケーションのはじまりです。気持ちの良い挨拶は、自分も相手も心地よい気持ちになり、その場の雰囲気も良くする事ができます。

素直であり続けること

- 『飛躍的に成長します』
  - 謙虚に耳を傾け、学ぶ姿勢で相手の人に接します。先輩方や後輩、周りの人から信用と信頼を得られ、たくさんのことを学びとることができます。

努力を惜しまないこと

- 『人間性を育みます』
  - 創意工夫を重ね、一生懸命に与えられた仕事に打ち込むことです。何か壁にぶつかっても諦めず、努力を続けることで自分の足りないところが見つかります。

利他の心で判断すること

- 『正しい判断を促します』
  - 「自分だけがよければ」という利己の心ではなく、「人によかれ」という利他の心で考えます。他の人の気持ちを汲みとれるようになり、広い視野と深い思考で考えられるようになります。

感謝を常に忘れないこと

- 『人生を豊かにします』
  - 人は必ず誰かと関わって生きています。今を当たり前と思わず、お蔭様という気持ちで感謝を示すことが、周りの人と自分の幸福感となります。

◆ 2023年度　基本方針

1．質の高い介護を追求していきます

①　ケアプランの深化を進めます

　担当者を中心にケアプランを深化させることによる効果として、ケアの向上とスキルアップを目指します。

②　ご家族との関わりと協同を推進します

　ご家族が玉樹と関わる機会を設けます。イベントへの参加やケアへの協同ができるような体制を目指します。

③　ご利用者が居心地の良さを感じられるよう環境を整えます

　ご利用者の個性を大切にしながら、清潔で快適に過ごせる環境を整備します。

2．個性が活き、人が育つ体制をつくります

①　従業員の健康増進をサポートします

　従業員の健康維持・向上に取り組みます。健康状態の確認や予防の促進、健康教育の実施等健康増進のサポートに力をいれます。

②　個々のスキルアップを応援します

　国家資格はもちろん、仕事に役立つ資格の取得やスキルアップのための研修受講を応援します。日々の業務や関わりの中で生まれる疑問の解消をサポートします。

3．業務負担を軽減し、効率化と連携強化を推進します

①　業務負担のばらつきを改善していきます

　スキルや経験の違いによって生まれる業務負担のばらつきを改善していきます。職員の配置、業務の見直し、スキルアップ、コミュニケーション等、多角的なアプローチを行います。

4．感染症や災害への対応力を強化します

①　地域連携強化を意識した業務継続計画（BCP）へバージョンアップします

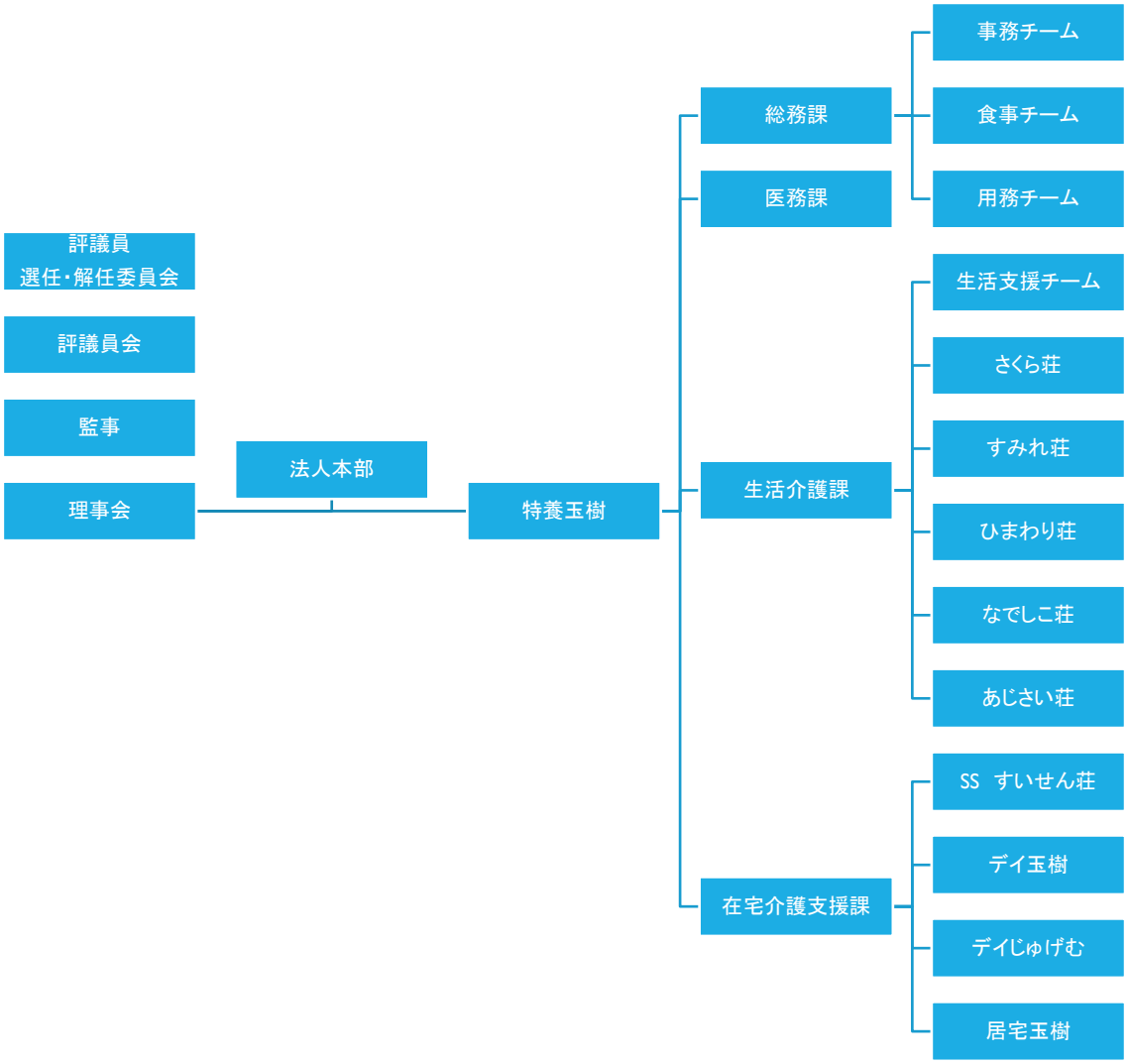
　地域の状況や施設の現状を把握し、地域連携強化によって感染症や災害への対応が的確にできるような業務継続計画（BCP）を目指します。

5．地域の課題へ取り組みます

①　社会的インパクト指向（社会的成果）としての法人活動をします

社会的インパクトを改善する活動としての法人の取り組みを明確にして具体的な施策を実行します。地域に対して社会課題を示すことによってその重要性を認識してもらいます。また、従業員が社会的な役割を果たしていると実感できるようにします。

◆ 組織図


評議員
選任・解任委員会
評議員会
監事
理事会
法人本部
特養玉樹
総務課
医務課
生活介護課
在宅介護支援課
事務チーム
食事チーム
用務チーム
生活支援チーム
さくら荘
すみれ荘
ひまわり荘
なでしこ荘
あじさい荘
SS すいせん荘
デイ玉樹
デイじゅげむ
居宅玉樹

◆ 数値指標

	特養	ショート	デイ玉樹	デイ じゅげむ	居宅介護支援事業所
利用者定員	50	10	25	10	−
稼働日数	366	366	310	313	−
稼働率	98.0	100.0	80.0	85.0	−
一日平均利用者数	49.0	10.0	20.0	8.5	−
利用者延べ数	17,934	3,660	6,200	2,660	−
単価（1人１日当たり）	14,752	14,330	10,801	10,916	−
総収入（千円）	*264,576*	*52,450*	*66,970*	*29,038*	*26,533*